

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岐阜協立大学
設置者名	学校法人大垣総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	全学 共通 科目	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
				経済 経営 学部 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経済学部	経済学科	夜・通信	2	8	10	4	20	13	
	公共政策学科	夜・通信				42	58	13	
経営学部	情報メディア学科	夜・通信			4	38	52	13	
	スポーツ経営学科	夜・通信				22	36	13	
看護学部	看護学科	夜・通信	-	-	47	49	13		
(備考) 看護学部は開設2年目であるため、1～2年次開講の科目を計上している。									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜協立大学ホームページ_情報公表 https://www.gku.ac.jp/about/information/index.html → 修学上の情報等 ・岐阜協立大学ホームページ_学生生活_岐阜協立大学【履修の手引】_履修科目検索 https://www.gku.ac.jp/campuslife/syllabus/index.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岐阜協立大学
設置者名	学校法人大垣総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

・学校法人大垣総合学園ホームページ
<https://osg.gku.ac.jp/index.html>
→ 役員・評議員

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2019.4.4～ 2021.4.3	管理運営
非常勤	地方公共団体 首長	2019.4.4～ 2021.4.3	管理運営
非常勤	会社役員	2020.4.1～ 2022.3.31	管理運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岐阜協立大学
設置者名	学校法人大垣総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教務委員会が毎年度、シラバス作成のガイドラインである「シラバスの記載の仕方」の原案を作成し、経済学部・経営学部・看護学部教授会に諮り、合意を得ている。非常勤講師には上記教授会后、郵送により配布している。「シラバスの記載の仕方」には、各授業科目のシラバスに記載すべき必要項目である「授業の目的」、「到達目標」、「授業の方法」、「授業計画」、「成績評価」等と、それぞれの項目を記入するうえでの注意事項を示している。これに基づき、各科目の担当教員がシラバスの原稿を記載し、教務課に提出する。その原稿を教務部長、教務委員等が分担し、必要な項目が記載されているか、内容についても点検を行っている。未記載の項目、修正を要する点があれば、当該教員に再度記載を依頼している。再提出が終わり、全科目のシラバスの原稿が揃った後、原則4月1日から学生に対し、一斉にWeb上で公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>・岐阜協立大学ホームページ_学生生活_岐阜協立大学【履修の手引】_履修科目検索 https://www.gku.ac.jp/campuslife/syllabus/index.html</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

単位認定の前提として、すべての授業で毎回出席を取り、客観的な学修意欲を測る方法の一つとしている。各授業で3回欠席した学生がある場合、当該学生の氏名が演習担当者等に報告される制度があり、報告を受けた担当教員が履修指導を行っている。また、出席回数は単位認定の前提としており公欠を除き、欠席回数が授業回数の3分の1を超えた場合は、定期試験を受験しても、単位を認定しない。

履修した科目の評価方法は、シラバスの「成績評価」欄に示されている。具体的には「筆記試験」、「論文・レポート」、「実技テスト」、「小テストなどの平常評価」等の評価方法に基づき、下記の成績基準により単位が認定される。学業成績は学則で「AA」「A」「B」「C」及び「D」とし、C以上をもって合格するとしており、AAは90点～100点、Aは80点～89点、Bは70点～79点、Cは60点～69点、Dは0点～59点となっている。C以上をもって合格した者には、その授業科目所定の単位が与えられる。また、上記の評価内容は、本学「グレードポイントアベレージに関する取り扱い規程」で、「AA 到達目標をほぼ完全に達成している」「A 到達目標を相応に達成している」「B 到達目標を相応に達成しているが、不十分な点がある」「C 到達目標の最低限は満たしている」「D 到達目標の最低限を満たしていない」と定めている。

定期試験を学生が正当な事由で、受験できない場合は、願い出により追試験を、不合格となった科目については、願い出により再試験を行うことがあることは教務規程に定めがあり、学則で評価が失格となる場合も明示している。「欠席が授業日数の3分の1をこえた者、成績評価に必要なレポートを提出しなかった者、不正行為を行った者、授業妨害を行った者、その他当該科目担当教員の必要な指示に従わなかった者」である。

また、本学アセスメントポリシーの成績評価では、学生の授業の成績は各担当教員が、正当かつ厳格な根拠をもとにつけることなどを定めている。

このように、各授業科目の学修成果の評価は、学則・規程に基づき、適正に実施している。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、GPAを導入し、成績評価・履修指導の客観的な指標としている。GPAの算出方法については、「岐阜協立大学グレードポイントアベレージに関する取り扱い規程」に定められており、次のとおりである。</p> <p>G P の算出方法 $G P = (\text{得点} - 52) / 10 \text{ (ただし、成績得点} < 60 = 0.0 \text{ とする)}$</p> <p>G P A の算出方法 学期GPA = (当該学期の履修科目のGP×当該科目の単位数) の総和 / 当該学期の履修総単位数 年度GPA = (当該年度の履修科目のGP×当該科目の単位数) の総和 / 当該年度の履修総単位数 累積GPA = (全在学期間の履修科目のGP×当該科目の単位数) の総和 / 全在学期間の履修総単位数 対象となる科目は、卒業要件に算出される全ての科目で、本学以外で修得した単位および資格取得による単位認定を除くこととしている。詳細は、上記規程で明示している。 このGPAの算出方法は、本学ホームページにて公表している。 また、この計算式に基づき、学部学科学年ごとに、GPA値の下位4分の1までが、明確にわかる分布表を作成しているため、該当学生に警告を出すことが可能である。この分布表は、前期及び後期の成績懇談会、平常の各演習での履修指導の参考資料とすることを予定している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>・岐阜協立大学ホームページ_情報公表_卒業要件・成績 https://www.gku.ac.jp/about/information/educational_information/sotugyo_seiseki.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針は、ディプロマポリシーとして、学部学科ごとに策定し、本学ホームページ上で公表している。経済・経営学部では、このディプロマポリシーを踏まえ、前掲様式第2号の3「厳格かつ適正な成績管理」に基づき、認定された単位の合計が、学則に定められた所定の卒業要件を満たし、124単位以上取得した場合に、卒業を認定しており、両学部で適切に実施している。看護学部は卒業に必要な単位が130単位であることを除き、同様であるが開設2年目であるため、卒業の認定はまだ行われていない。 なお、経済学部は、経済学科・公共政策学科ともに、2～4年次に履修する演習の学修成果を卒業論文にまとめ、卒業論文発表会で口頭発表を行い、審査に合格することを卒業認定の要件としている。このため、例年2月に卒業論文発表会を開催し、学生全員が論文概要を発表することとしており、演習指導教員を含む教員2名体制で厳格に審査を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>・岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー(学部) https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岐阜協立大学
設置者名	学校法人大垣総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	・ 学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html →財務情報の公開
収支計算書又は損益計算書	・ 学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html →財務情報の公開
財産目録	・ 学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html →財務情報の公開
事業報告書	・ 学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html →財務情報の公開
監事による監査報告(書)	・ 学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html →財務情報の公開

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:岐阜協立大学 事業計画書 対象年度:2020年度)
公表方法:学校法人大垣総合学園ホームページ https://osg.gku.ac.jp/index.html →財務情報の公開
中長期計画(名称:学校法人大垣総合学園5ヶ年計画 対象年度:2018~2022年度)
公表方法:非公表

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:岐阜協立大学ホームページ_大学の取り組み_自己点検・評価の取り組み https://www.gku.ac.jp/about/approach/inspection.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:岐阜協立大学ホームページ_大学概要_認証評価_平成25年度大学機関別認証評価_自己点検評価書〔日本高等教育評価機構〕 https://www.gku.ac.jp/about/outline/doc/appraisal/h25_nintei.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部
教育研究上の目的 (公表方法：岐阜協立大学ホームページ_情報公表 https://www.gku.ac.jp/about/information/index.html →教育情報_教育研究上の基礎的な情報_大学の教育研究上の目的)
(概要) 岐阜協立大学の建学の精神・基本理念の一つである「自主と自由」は、研究活動においては、基本的に研究内容の自由を確保することを意味する。この自由・闊達な研究活動の展開を通じ、経済・経営をはじめとする諸学問領域に新たな息吹を吹き込むことと併せて、研究成果を学生教育に反映されること、さらには本学の知的財産が蓄積されることが期待される。 ・経済学部経済学科 経済学をはじめとする社会科学の体系的及び実践的な教育を行い、地域に有為の人材を養成することを目的とする。 ・経済学部公共政策学科 経済学をはじめとする社会科学や政策科学、ならびに社会福祉の専門知識や技術を系統的、体系的に学習し、協働と共生の地域社会を創造するために指導的役割を果たす人材の養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部) https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#keizai)
(概要) ・経済学部 経済学科 ディプロマポリシー 経済学科は、学生が卒業に際して次の能力を身につけていることを目標とします。 1. 人文・社会・自然科学や情報処理、日本語の文章表現に関わる基礎的素養を修得し、外国語や外国文化を理解する能力を持つ。 2. 地域実践型アクティブラーニングを通じて、地域社会が抱える問題を発見し、それらの問題が起こる原因を理論的に追究し、解決策を考え、提案・行動できる能力を持つ。 3. 経済学の基礎的諸分野について理解し、経済学的思考によって経済現象の本質を分析できる能力を持つ。 4. 「国際社会と日本」コースの履修者は、世界や日本の経済・社会への洞察力を持ち、地域社会の持続的発展に貢献できる能力を持つ。「生活と環境」コースの履修者は、家族・生活・地域・環境に関わる問題を発見・理解し、それらの問題の解決策を提起する能力を持つ。 5. 2～4年次に履修する演習の学修成果を卒業論文にまとめ、卒業論文発表会で口頭発表を行い、審査に合格する。 ・経済学部 公共政策学科 ディプロマポリシー 公共政策学科は、学生が卒業に際して次の能力を身につけていることを目標とします。 1. 人文・社会・自然科学や情報処理、日本語の文章表現に関わる基礎的素養を修得し、外国語や外国文化を理解する能力を持つ。 2. 地域実践型アクティブラーニングを通じて、地域社会が抱える問題を発見し、それらの問題が起こる原因を理論的に追究し、解決策を考え、提案・行動できる能力を持つ。

3. 地域の経済や社会、地方行政や地方自治、社会福祉について深く理解し、地域づくりの新たな担い手となるための能力を持つ。
4. 「公共マネジメント」コースの履修者は、より良いまちづくり・社会づくりの中心的担い手となることのできる知識と地域社会への洞察力を持つ。「社会福祉」(2018年度入学者からは「福祉と健康」)コースの履修者は、社会福祉・地域福祉の実践活動を行うことができる知識・技能を持つ。
5. 2～4年次に履修する演習の学修成果を卒業論文にまとめ、卒業論文発表会で口頭発表を行い、審査に合格する。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部)

<https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#keizai>)

(概要)

・経済学部経済学科

経済学科は、ディプロマポリシー達成のため、次のような方針で教育課程を編成しています。

1. 1・2年次において、人文・社会・自然科学や情報処理、日本語の文章表現に関わる基礎的素養を身につけ、外国語や外国文化を理解するための科目を履修します。
2. 地域社会が抱える問題を発見し、それらの問題が起こる原因を理論的に追究し、解決策を考え、提案・行動できる能力を養うため、地域実践型アクティブラーニングの推進を重視しています。
3. 経済学の基礎的諸分野について理解し、経済学的思考によって経済現象の本質を分析できる能力を養うための科目を2年次開講科目にしています。
4. 「国際社会と日本」コースに、3つの履修モデル(国際経済プログラム、金融・財政・会計プログラム、日本経済とビジネス開発プログラム)、「生活と環境」コースに3つの履修モデル(生活デザインプログラム、コミュニティビジネスと地域創造プログラム、環境共生プログラム)を設け、3年次からいずれかのコースを選択・履修します。
5. 2～4年次に原則として同一の指導教員の演習に所属し、4年次に自主的に研究テーマを設定し、卒業論文を作成します。

・経済学部公共政策学科

公共政策学科は、ディプロマポリシー達成のため、次のような方針で教育課程を編成しています。

1. 1・2年次において、人文・社会・自然科学や情報処理、日本語の文章表現に関わる基礎的素養を修得し、外国語や外国文化を理解するための科目を履修します。
2. 地域社会が抱える問題を発見し、それらの問題が起こる原因を理論的に追究し、解決策を考え、提案・行動できる能力を養うため、地域実践型アクティブラーニングの推進を重視しています。
3. 地域の経済や社会、地方行政や地方自治、社会福祉について深く理解するための基礎的知識を養う科目を2・3年次開講科目にしています。
4. 「公共マネジメント」コースの履修モデル(「公務員養成プログラム」)は、公務員試験合格に必要とされる知識を、「社会福祉」(2018年度入学者からは「福祉と健康」)コースの履修モデル(「コミュニティソーシャルワーカー養成プログラム」)は、社会福祉士国家試験受験資格の取得と合格に必要とされる知識と技能を身につけます。
5. 2～4年次に原則として同一の指導教員の演習に所属し、4年次に自主的に研究テーマを設定し、卒業論文を作成します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部)

<https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#keizai>)

(概要)

・経済学部経済学科

経済学科は、経済現象の本質を捉える洞察力を備えた、地域に有為の人材を育成することを目的としています。このため、入学時点において、次のような意欲・興味・関心を持っている学生を求めています。

1. 経済のしくみを理解することに強い意欲を持つ学生。
2. 地域が抱える問題を発見し、その解決策を考えることに関心のある学生。
3. グローバルな視点で社会の動きを理解できるようになりたい学生。
4. 人びとがより良い生活を送れるように社会を変えたいと熱望する学生。

・経済学部公共政策学科

公共政策学科は、地域づくりの新たな担い手となる能力を備えた、地域に有為の人材を育成することを目的としています。このため、入学時点において、次のような意欲・興味・関心を持っている学生を求めています。

1. 世のため、人のために働くことを人生の至上の理想と考えている学生。
2. 将来は公務員として、あるいは社会福祉士として、地域の発展に貢献したいという強い意欲を持つ学生。
3. 公務員、あるいは社会福祉士を目指して奮励努力することを惜しまない学生。
4. 地域づくりの担い手となるために、地域が抱える問題を発見し、その解決策を考えることに関心のある学生。

学部等名 経営学部

教育研究上の目的

(公表方法：岐阜協立大学ホームページ_情報公表

<https://www.gku.ac.jp/about/information/index.html>

→教育情報_教育研究上の基礎的な情報_大学の教育研究上の目的)

(概要)

岐阜協立大学の建学の精神・基本理念の一つである「自主と自由」は、研究活動においては、基本的に研究内容の自由を確保することを意味する。この自由・闊達な研究活動の展開を通じ、経済・経営をはじめとする諸学問領域に新たな息吹を吹き込むことと併せて、研究成果を学生教育に反映されること、さらには本学の知的財産が蓄積されることが期待される。

・経営学部情報メディア学科

経営学、会計学、マーケティングと広告・広報メディア向けのコンテンツ制作、情報通信技術とソフトウェアに関する専門知識を身につけた、企業経営や地域振興に貢献しうる人材の養成を目的とする。

・経営学部スポーツ経営学科

経営学、スポーツ経営学、スポーツ科学を複合的に学び、スポーツの振興、スポーツ産業の発展及びスポーツ教育の充実に貢献できる人材の養成を目的とする。

卒業の認定に関する方針

(公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部)
<https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#keiei>)

(概要)

・経営学部 情報メディア学科ディプロマポリシー

情報メディア学科は新たな価値を生む精神、地域で学び地域をつくる力、そしてキャリアを拓く力を身につけた人材を育成するという本学の教育理念にもとづき、学士課程教育を通じて以下の基準を総合的に満たす学生に学位を授与します。

1. 人文科学、社会科学、自然科学、情報リテラシー、および論理的な文章表現力を身に付けている。
2. 日本人同士、外国人とも共感しあうコミュニケーション能力を持っている。
3. 経営学、情報科学、会計学、マーケティングの専門知識を体系的に修得し、ビジネスの倫理観を有している。
4. 情報通信技術を現実の経営問題の解決のために活用することができる。
5. 地域における情報通信技術活用の課題を見つけ、その解決のために貢献できる。

・経営学部 スポーツ経営学科 ディプロマポリシー

スポーツ経営学科は、新たな価値を生む精神、地域で学び地域をつくる力、そしてキャリアを拓く力を身につけた人材を育成するという本学の教育理念にもとづき、学士課程教育を通じて以下の基準を総合的に満たす学生に学位を授与します。

1. 人文科学、社会科学、自然科学、情報リテラシー、および論理的な文章表現力を身に付けている。
2. 日本人同士、外国人とも共感しあうコミュニケーション能力を持っている。
3. 経営学とスポーツ科学の専門知識を体系的に修得している。
4. 現実の経営問題を理解する方法を修得し、経営学の専門知識を学校やスポーツ産業における経営に実践的に応用できる。
5. 地域におけるスポーツ振興の課題を見つけ、その解決のために貢献できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部)
<https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#keiei>)

(概要)

・経営学部情報メディア学科

情報メディア学科は、ディプロマ・ポリシーを達成するため、次のような方針で教育課程を編成しています。

1. 社会に貢献できる社会人となるのに必要な教養を身に付けるために、1・2年次に人文科学、社会科学、自然科学、情報リテラシー、文章表現法、外国語や多文化交流、および体育に関する科目を開講しています。
2. 経営学の基礎を体系的に理解するために、経営学部共通の基本科目(経営学、簿記入門、金融リテラシー、経営戦略論、経営管理論、経営組織論、中小企業論、国際経営論、マーケティング論)が用意されています。
3. メディアとしてのインターネットを通じたマーケティングリサーチ・広告・販売促進などマーケティングの手法を身に付けるために、「メディアマーケティングコース」が設けられ、ソフトウェアの開発や情報システム設計に必要な知識と技法を身に付けるために、「ICT・アプリ開発コース」が設けられています。
4. グローバル企業から地場産業まで幅広い業種の企業経営に必要な総合的知識を身に付けるために、「経営会計コース」が設けられ、さらにそれぞれのキャリアに必要な資格取得もサポートするために、「職業会計人育成プログラム」と「マーケティング人材育成プログラム」が設けられています。
5. 専門領域のテーマの下、少人数の受講生が指導教員から指導を受けながら、自主的に研究、発表、討論を行って探求力を養うために、演習科目の演習Ⅱ(3年次)と演習Ⅲ(4年

次)を必修としています。

・経営学部スポーツ経営学科

スポーツ経営学科は、ディプロマ・ポリシーを達成するため、次のような方針で教育課程を編成しています。

1. 社会に貢献できる社会人となるのに必要な広範な教養を身に付けるために、1・2年次に人文科学、社会科学、自然科学、情報リテラシー、文章表現法、外国語や多文化交流、および体育に関する科目が開講されています。
2. 経営学の基礎を体系的に理解するために、経営学部共通の基本科目(経営学、簿記入門、金融リテラシー、経営戦略論、経営管理論、経営組織論、中小企業論、国際経営論、マーケティング論)が用意されています。
3. スポーツ産業界をリードする人材を養成するために、「スポーツビジネスコース」が設けられ、「スポーツをテーマとした仕事に進む」ための基礎知識を修得し、健康・スポーツ産業における管理運営能力やマーケティング能力など総合的なマネジメント能力を修得します。実感を持ってマネジメント能力を修得するため、スポーツ関連企業や団体の現場における実践教育も重視します。
4. 学校教育から生涯教育まで幅広い教育分野に対応できる人材を養成するために、「スポーツ教育コース」が設けられ、専門的なスポーツ科学の知識やコーチング理論を学び、発達段階に応じた適切な対処と競技力向上のための様々な知識を修得します。
5. 「スポーツ教育コース」では、保健体育の授業、運動部活動の指導の理解を深め、理論と実践の往還による実践的な指導力の基礎を形成された保健体育教師を養成するために、「課外体育インターンシップ制度」や「体育授業インターンシップ制度」が設けられています。
6. 専門領域のテーマの下、指導教員から指導を受けながら、学生が自主的に研究、発表、討論を行って探求力を養うために、演習科目の演習Ⅱ(3年次)と演習Ⅲ(4年次)を必修としています。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部)

<https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#keiei>)

(概要)

・経営学部情報メディア学科

情報メディア学科は、経営効率化のために情報通信技術(ICT)を活用できる実践的能力やデジタルメディア時代に即応した企画力・表現力・技能を総合的に有し、様々な組織の経営や地域振興に貢献しうる人材の育成を目的とします。このため、入学時において、次の興味・関心等を持っている学生を求めています。

1. 最新のICTに興味があり、新しいアプリやビジネスを提案できるようになりたい学生。
2. 斬新で自分らしい作品を作るために、デジタルコンテンツ制作技術を身に付けたい学生。
3. 企業経営に興味を持ち、商品の販売やブランドの開発に関する専門能力の修得に関心のある学生。
4. 会計分野を中心に高い専門性を発揮し、活躍したいという意欲のある学生。
5. 情報科あるいは商業科の教育者を目指す学生。
6. 社会的な問題や課題にビジネスの視点を活用して解決していく力を身につけたい学生。

・経営学部スポーツ経営学科

スポーツ経営学科は、経営学の諸分野とスポーツ科学を複合的に学び、スポーツや健康に関連する企業、地域スポーツクラブ、学校教育から生涯教育に及ぶまで必要とされる経営活動(マネジメント)の計画・実行・評価に関する専門能力を有し、スポーツ・教育・健康関連事業の発展に資することのできる人材の養成を目的とします。このため、入学時において、次の興味・関心等を持っている学生を求めています。

1. 健康・スポーツ産業に従事し、その経営的な発展に貢献したい学生。
2. 地域スポーツの振興に貢献したい学生。

3. スポーツマネジメントについての知見を有する教育者・指導者をを目指す学生。
4. 保健体育科あるいは商業科の教育者をを目指す学生。

学部等名 看護学部

教育研究上の目的

(公表方法：岐阜協立大学ホームページ_情報公表

<https://www.gku.ac.jp/about/information/index.html>

→教育情報_教育研究上の基礎的な情報_大学の教育研究上の目的)

(概要)

岐阜協立大学の建学の精神・基本理念の一つである「自主と自由」は、研究活動においては、基本的に研究内容の自由を確保することを意味する。この自由・闊達な研究活動の展開を通じ、経済・経営をはじめとする諸学問領域に新たな息吹を吹き込むことと併せて、研究成果を学生教育に反映されること、さらには本学の知的財産が蓄積されることが期待される。

・看護学部看護学科

保健・医療・福祉等の分野において、他職種の人々と連携してチーム医療を推進し、相互の専門性を十分活かすとともに、看護をより有効的に機能させ、地域社会の保健医療ニーズに適切に対応できる人材の養成を目的とする。

卒業の認定に関する方針

(公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部)

<https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#kango>)

(概要)

・看護学部 看護学科 ディプロマポリシー

看護学部では、本学の建学の精神、教育の特色、教育研究上の目的等を踏まえ、本学が定める卒業要件として必要な在学年数及び単位数を満たし、以下に示すところの成果が得られた学生に卒業を認め、学位『学士(看護学)』を授与する。

1. 多様なリベラル・アーツ教育に基づいた、人間に対する深い洞察力と高い倫理観を持ち、生命に対する尊厳及び柔軟な思考力、徳性の涵養を身につけている。(姿勢・態度)
2. 個人、家族、地域を対象に、健康から不健康に至るあらゆる健康レベルの人々に適切な看護を実施できるための広い視野と専門的知識と専門的技術を身につけている。(知識・理解・技能)
3. 保健・医療・福祉等の分野において、他職種の人々と連携してチーム医療を推進し、互いの専門性を十分に活かすとともに、看護をより有効的に機能させ、地域社会の保健医療ニーズに適切に対応できる能力を身につけている。(関心・意欲・態度)
4. 医療者として他者の思いや考えを理解できる力や想像力を持って、人々の身体的・精神的苦痛に寄り添うことができる能力、及び人々の多様な価値観を尊重して、自身の考えを相手に適切に伝えるコミュニケーション能力を身につけている。(技能・表現)
5. 専門職として自律心を持ち、自己啓発能力と研究的態度を身につけて、看護学を体系化し発展させる能力を身につけている。(思考・判断・表現)

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部) https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#kango)</p>
<p>(概要)</p> <p>・看護学部看護学科</p> <p>看護職者が備えなければならない高い倫理観と健康問題をもつ人々に適した最新で高度な看護を引き出す専門的知識・技術・態度、他者を思いやり、他者の気持ちを感じ取り寄り添う豊かな人間力、コミュニケーション力、自己理解＝自己洞察、他者理解＝異文化への理解や多様性を受け入れる姿勢、チーム医療を推進する力を養います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が幅広い視野を持って学科目的に沿った主体的な学びが行えるよう、その基盤づくりとして多様なリベラル・アーツ教育とともにキャリア教育も含む総合的な内容からなる教養科目を開講し、適切な選択や受講ができるようにする。 2. 学生が専門的な知識と技能を体系的に学べるよう、各分野ともに専門に関する科目を基礎から応用までの学修段階に配慮した順序と内容で開講し、教養とともに専門分野に係る「知識・理解」、「思考・判断・表現」、「技能」、「関心・意欲・態度・姿勢」の伸長と定着を目指せるようにする。 3. 教養科目と専門に関する科目を学修するにあたっては、主体的な学びを目指す学修活動を中心に、科目の特性に応じて、地域社会と結びついた実践的な活動、環境を重視し社会性と協調性、その基盤となる自律性と品性などを身につけていく活動に取り組んでいけるように配慮して各科目を配列する。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：岐阜協立大学ホームページ_大学概要_3つのポリシー (学部) https://www.gku.ac.jp/about/outline/policy.html#kango)</p>
<p>(概要)</p> <p>入学者の受入れにあたっては、看護学部における教育理念及び教育目標に基づく専門的知識と理論を修得し、様々な分野で社会において活躍・貢献したいと考える多様な優れた資質を有し、学びへの意欲に溢れる学生を求めるとともに、個性豊かな学生が互いを尊重し、高め合う教育環境の実現を目指します。</p> <p>求める学生像(求める能力・適性等)</p> <p>本学の建学の精神と教育理念に共感し、「深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律心、知的好奇心、学修意欲を持ち、自己研鑽を持続的にいき、かつ地域社会で活躍、貢献する人間」として育成するのに相応しい学生を求めている。具体的な学生像を以下に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職者を目指すために必要な幅広い基礎学力を有し、何事も積極的に学ぼうと努力する知的好奇心豊かな学生。 2. 人を思いやる心とコミュニケーション能力を備え、豊かな感受性と自律心を有し、高い人間力を目指して努力できる学生。 3. 保健・医療・福祉を中核とした社会の動向や変化に関心を持ち、看護職者に求められる専門的知識・技術・態度を積極的に身につけるために、継続的に自己研鑽できる学生。 4. 課題解決に向けて探求心を持ち、自分の考えを分析・統合して表現できる学生。

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：岐阜協立大学ホームページ_情報公表_教育情報_教育研究上の基礎的な情報 https://www.gku.ac.jp/about/information/index.html</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
経済学部	—	12人	8人	1人	0人	0人	21人
経営学部	—	14人	8人	3人	0人	0人	25人
看護学部	—	8人	3人	7人	4人	3人	25人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			112人				112人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：岐阜協立大学ホームページ_教員紹介 https://www.gku.ac.jp/about/teacher/index.html (https://www.gku.ac.jp/about/teacher/m_usami.html)						
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学では教員のF D活動を推進するため、F D推進委員会を組織し、教育方法の改善のための、研究・研修を実施している。2019年度は北方キャンパスで経済学部・経営学部全教員に参加を呼びかけた研修を2回、西之川キャンパスで看護学部全教員に参加を呼び掛けた研修を3回実施した。また、全学部の学生に対し、授業評価アンケートを実施した。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	130人	139人	106.9%	520人	495人	95.2%	若干名	2人
経営学部	220人	271人	123.2%	880人	950人	108.0%	若干名	1人
看護学部	80人	69人	86.2%	320人	141人	44.1%	若干名	0人
合計	430人	479人	111.4%	1720人	1586人	92.2%	若干名	3人
(備考) 看護学部は開設2年目で、完成年度に至っていません。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	81人 (100.0%)	0人 (0.0%)	76人 (93.8%)	5人 (6.2%)
経営学部	221人 (100.0%)	2人 (0.9%)	206人 (93.2%)	13人 (5.9%)
合計	302人 (100.0%)	2人 (0.6%)	282人 (93.4%)	18人 (6.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) <進学先> 愛知教育大学大学院、岐阜協立大学大学院				

<就職先>

【建設・不動産業】

アーキテックス㈱、旭シンクロテック㈱、アチハ㈱、㈱アットホーム、㈱オープンハウス、北川漚青工業㈱、
㈱共同エンジニアリング、岐建㈱、㈱岐阜造園、三栄工業㈱、㈱添空調設備、㈱大丸開発、㈱高島土建、㈱
テイエム技建、日研トータルソーシング㈱、㈱二友組、㈱根尾開発、北栄電設㈱、㈱メイビック、ユニオン
テック㈱

【製造業】

アスザック㈱、㈱石吉、㈱内山熔接工業、エア・ウォーターマッハ㈱、栄四郎瓦㈱、㈱エノモト、㈱クラウ
ンパッケージ、㈱くるちく、㈱コムラ、近藤工業㈱、サンケミカル㈱、㈱セキノ興産、㈱タカギセイコー、
大豊製紙㈱、大和工業㈱、㈱チェリオコーポレーション、テイコクテーピングシステム㈱、㈱豊田自動織機、
中田食品㈱、日華化学㈱、福田刃物工業㈱、富士変速機㈱、フタバ産業㈱、㈱プロスパー、㈱マキタ、㈱マ
キナ、松浦板金、まるか食品㈱、美濃工業㈱、㈱村上開明堂、メイラ㈱、明和工業㈱、山本化学㈱

【電気・ガス・熱供給・水道業】

㈱TOKAI ホールディングス

【情報通信業】

旭情報サービス㈱、㈱エスワイシステム、㈱サイエンスネット、シースリーインデックス㈱、総合情報サー
ビス㈱、㈱テクノア、PHC メディコムネットワークス㈱

【運輸郵便業】

飯野港運㈱、沖縄西濃運輸㈱、岐阜県 JA ビジネスサポート㈱、㈱神聖運輸、西濃運輸㈱、つばめタクシーグ
ループ、トランコム㈱、名古屋鉄道㈱

【卸売業】

伊藤ハムミート販売西㈱、江守塗料㈱、㈱オキジム、㈱沖縄電子、沖縄パナソニック特機㈱、小野建㈱、北
恵㈱、㈱サンゲツ、㈱三和精機、滋賀特機㈱、㈱島袋、新光産業㈱、ジーエフシー㈱、中央電子工学㈱、㈱
中京医薬品、中部事務機㈱、㈱ダイヤモンド、中北薬品㈱、㈱西原商会、古林産業器具㈱、㈱ホンダパーツ
中部、㈱マルエイ、㈱ヤマガタヤ、ヤマニ洋紙工業㈱、米津物産㈱、リコージャパン㈱

【小売業】

愛知トヨタ自動車㈱、青山商事㈱、イオンリテール㈱、㈱I DOM、㈱エスケーアイ、㈱エルインターナシ
ョナル、㈱オークワ、㈱オーレンジ、岐阜ダイハツ販売㈱、岐阜日産自動車㈱、岐阜日野自動車㈱、㈱クス
リのアオキ、㈱グッドスピード、ゲンキー㈱、㈱コスモス薬品、㈱スズキ自販東海、㈱タカラ・エムシー、
ダンロップタイヤ中部㈱、常松商店、東海マツダ販売㈱、㈱東名、㈱トミダヤ、トヨタカローラ愛知、長崎
ヤクルト㈱、㈱ネクステージ、㈱パローホールディングス、㈱パロ販売、光通信システム㈱、㈱ピーズイン
ターナショナル、㈱ビッグモーター、㈱ファイントラスト、㈱ホームセンターパロー、㈱北越ケーズ、㈱マ
ックハウス、山形スバル㈱、㈱ユタカファーマシー、ユニー㈱、リネットジャパングループ㈱、㈱レッドバ
ロン

【金融・保険業】

㈱第三銀行、㈱北海道銀行、㈱北國銀行、長浜信用金庫、八幡信用金庫、尾西信用金庫、香川県農業協同組
合、ぎふ農業協同組合、信州うえだ農業協同組合、西美濃農業協同組合、めぐみの農業協同組合、三縁証券
㈱、丸八証券㈱、明治安田生命保険(相)、㈱りゅうぎんディーシー

【サービス業】

アイレックススポーツライフ㈱、㈱アウトソーシングテクノロジー、㈱アジアル、㈱アスピカ岐阜本部、ALSOK
三重総合警備保障㈱、㈱エイジェック、OA サポート楽天市場店、沖縄総合警備保障㈱、㈱OHANA、㈱カトー
レジャーグループ㈱、協同組合トビックス、㈱くらコーポレーション、ザ・テラスホテルズ㈱、㈱島風、㈱
JITS、㈱ジェイ・シー・サポート、ジュイールドゥヘア、太陽建機レンタル㈱、中部産業㈱、壺川自動車
学校、㈱ティスメ、㈱トーカイ、㈱東京コンサルティングファーム、東洋テック㈱、トヨタ白川郷自然学校、
トヨタレンタリース愛知㈱、㈱DREAM ON COMPANY、(社)日本貨物件数協会、㈱ネクスト、NEXUS㈱、㈱飛竜企
画、㈱ヒロコーポレーション、フジ精密㈱、㈱フュービック、㈱ブロンコビリー、㈱プレスステージ・インタ
ーナショナル、㈱平成観光、ホアンロン・ジャパン㈱、㈱マーキュリー、三重県南部自動車学校、ミンタン貿
易サービス㈱、(合)ユー・エス・ジェイ、リーフラス㈱、㈱ルネサンス、レンテック大敬㈱、㈱ロマンティ
ア、(社福)愛知慈恵会 さくら山荘、(社福)大垣市社会福祉協議会、(社福)狛江福祉会、(社福)サンビジ
ョン、(社福)志楽園福祉会、スクール、(社福)飛騨慈光会、(医)小寺会 佐伯中央病院、(医)徳州会大垣徳
洲会病院、戸田中央医科グループ、鳥取医療生活協同組合

【公務員等】

岐阜県小中学校事務職員、国立病院機構近畿グループ、越前市役所、池田町役場、垂井町役場、(財)岐阜
県体育協会、岐阜県警察官、京都府警察官、警視庁、富山県警察官、三重県警察官、大垣消防組合、川口市
消防局、岐阜市消防本部、敦賀美方消防組合、枚方寝屋川消防組合、防衛省・自衛隊(一般曹候補生)、(学)
大橋学園大橋学園高等学校

【教員(常勤・非常勤講師を含む)】

愛知県教員、岐阜県教員、福井県教員、福岡県教員、(学)富田学園富田高等学校

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
経済学部	103人 (100%)	79人 (76.7%)	8人 (7.8%)	16人 (15.5%)	－人 (%)
経営学部	258人 (100%)	207人 (80.2%)	15人 (5.8%)	36人 (14.0%)	－人 (%)
看護学部	－人 (100%)	－人 (%)	－人 (%)	－人 (%)	－人 (%)
合計	361人 (100%)	286人 (79.2%)	23人 (6.4%)	52人 (14.4%)	－人 (%)
(備考) ・看護学部は開設2年目のため、空欄としている。 ・卒業単位不足による留年、学費未納による除籍退学、進路変更による退学が多い。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>各授業科目の授業の方法及び内容、年間の授業の計画は、「シラバスの記載の仕方」というガイドラインに基づき、各担当教員がシラバスに明記している。未記載の項目がないか、内容に不備がないかを教務委員等が点検した後、学生にWeb上で公開している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

単位認定の前提として、すべての授業で毎回出席を取り、客観的な学修意欲を測る方法の一つとしている。公欠を除き、欠席回数が授業回数の3分の1を超えた場合は、定期試験を受験しても、単位を認定しない。

履修した科目の評価方法は、シラバスの「成績評価」欄で示されている。具体的には「筆記試験」、「論文・レポート」、「実技テスト」、「小テストなどの平常評価」等の評価方法に基づき、下記の成績基準により単位が認定される。学業成績は学則で「AA」「A」「B」「C」及び「D」とし、C以上をもって合格するとしており、AAは90点～100点、Aは80点～89点、Bは70点～79点、Cは60点～69点、Dは0点～59点となっている。C以上をもって合格した者には、その授業科目所定の単位が与えられる。

卒業の認定に関する方針を踏まえ、前掲様式第2号の3「厳格かつ適正な成績管理」に基づき、認定された単位の合計が、学則に定められた所定の卒業要件を満たし、経済・経営学部は合計124単位、看護学部は合計130単位を取得した場合に、卒業を認定している。

なお、経済学部、経営学部、看護学部の学位名称は以下のとおりである。

経済学部経済学科	学士（経済学）
経済学部公共政策学科	学士（社会学）
経営学部情報メディア学科	学士（経営学）
経営学部スポーツ経営学科	学士（スポーツ経営学）
看護学部看護学科	学士（看護学）

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	124 単位	有・無	48 単位
	公共政策学科	124 単位	有・無	48 単位
経営学部	情報メディア学科	124 単位	有・無	48 単位
	スポーツ経営学科	124 単位	有・無	48 単位
看護学部	看護学科	130 単位	有・無	48 単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法：岐阜協立大学ホームページ_情報公表_卒業要件・成績 https://www.gku.ac.jp/about/information/educational_information/sotugyo_seiseki.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： 非公表		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

- 岐阜協立大学ホームページ_情報公表_施設・環境
https://www.gku.ac.jp/about/information/educational_information/shisetu_kaninkyou.html
- 岐阜協立大学ホームページ_施設・キャンパス紹介
<https://www.gku.ac.jp/about/campusmap/index.html>
- 岐阜協立大学ホームページ_アクセス_交通アクセス
<https://www.gku.ac.jp/about/location.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済 学部	経済学科	700,000 円	200,000 円	292,660 円	
	公共政策学科	700,000 円	200,000 円	292,660 円	
経営 学部	情報メディア学科	700,000 円	200,000 円	292,660 円	
	スポーツ経営学科	700,000 円	200,000 円	292,660 円	
看護 学部	看護学科	800,000 円	200,000 円	723,370 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>経済・経営学部では、1年次から4年次まで全員が演習を受講する。その演習担当教員が個々の学生に応じた履修・学生生活への助言などの指導・支援を行う。また、資料のコピー費や参考書等の購入に使用できるゼミ運営費、学外調査や教員・学生の親睦を深めるための現地調査旅行及びゼミ旅行を補助する制度を用意している。</p> <p>看護学部では、教員1名あたり学生2～4名/学年をチューターが担当し、個別面談等により履修・学生生活・国家試験受験対策・就職に向けての指導・支援を行っている。学修支援においては、チューターの他、学年担任、教務委員会委員、スタートアップ看護ゼミ等委員の教員がマニュアルに基づき連携支援を展開している。入学時には、新入生全員が参加するスタートアップ看護キャンプで4年間学修を共にする学生や教員との親睦を図るとともに、大学での学修姿勢の理解、看護学部生としての将来設計のグループワークを実施している。また、その後1年間を通じたゼミ活動をとおして、社会人基礎力、および看護専門職のアイデンティティ教育を行う。</p> <p>なお、全学部とも、オフィスアワーを設定しており、学生は個人の特性や要望に応じた十分な履修・修学等の相談を依頼することができる。</p>

<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 資格講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学内で開講した資格取得講座 <ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定 2 級・3 級 ・ビジネス能力検定ジョブパス 2 級 ・マイクロソフトオフィス・スペシャリスト (MOS-Word2016、MOS-Excel2016) ○本学教員による直前対策講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイナンシャルプランナー技能士検定 (FP) 3 級 ・リテールマーケティング (販売士) 2 級 <p>*日商簿記検定 2 級・3 級は資格講座も行い、直前対策講座も行った。</p> <p>(2) 就職支援</p> <p>①キャリア形成講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1 年次～3 年次までのキャリア形成講義 ○業界研究講座 ○内定者報告会 ○ワークライフバランスの講話 (岐阜県との就職支援協定による連携事業) <p>②就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○岐阜県との就職支援協定による連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの講話 ・オール岐阜・岐阜フェスへの学生動員 ○福井県と就職支援協定を締結 ○キャリア支援課スタッフによる個別面談の実施 ○キャリア支援課スタッフによる求人開拓 ○就職支援セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・「業界研究セミナー」 ・「就職特別講座」 ・「保護者向け就職活動説明会」 ○他大学との連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿大学との「大学間連携推進事業」 <p>③インターンシップの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正課でのインターンシップの実施 ○課外活動でのインターンシップの実施 ○「岐阜協立大学インターンシップ協議会」構成員企業の海外事業所でのビジネス研修型海外インターンシップの実施 ○1 年次生向けインターンシップ (ジョブシャドウイング) の実施
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>心やからだに不調があり、学生生活の上で特別な希望や要望がある学生の支援を行っている。具体的には、学内移動、食事など生活上の支援、ノートテイクや授業サポートなど学業上の支援を行っている。また、カウンセラーが毎日の生活における心配ごと、不安、悩みを解決する手伝いをしている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：岐阜協立大学ホームページ_教員紹介 https://www.gku.ac.jp/about/teacher/index.html</p>
--